

高島市財務概要 について



宮川 佳衛 議員

問 高島市発足に伴い基金の状況、地方債の動向、一般会計歳入歳出構成比を見せていただき、税収の減、三位一体に伴う国・県からの交付金、補助金から年々減少傾向と見込まれるが、2年～4年度先の財務概要の見直しをお教え願いたい。地方債の増、基本財源の動向、地方債の動向について説明を求めます。

答 総務部長
市財政の見直しですが、景気は依然先行き不透明であること

から、税収の増加は見込めないと予想していただきます。また、各種補助金、交付税等についても、三位一体の改革の動向が現状不確定な点が多いことから、現時点では詳しい見積が困難な状況ですが、大変厳しい状況であると認識しています。

問 市長の明日の高島市の財政立て直し策、長期展望をお聞かせ願いたい。信用信頼のできる病院が高島市民5万6千人の願いである。まず県立病院等高度な医療機関との



連携強化を図る特科を設け、医療の充実信用と信頼を得ながら公立高島総合病院の経営改革努力をするべきではないか。

答 病院長
特科することで高島病院の特色を示し経営改善を図ることも検討しましたが、地域の中核病院として広範囲の診療態勢を整え患者様を受け入れる役割を担っていることから、市民にとってマイナスになる施策は現段階では考えておりません。

多様な「食育」の創造的な 取り組みとは？



山川 恒雄 議員

問 市長の所信表明の中に「多様な食育を創造的に取り組んでまいります。」とあるが、各部署長に以下について尋ねる。健康福祉部では、市内保育園等と健康づくりとの関係で、どのように食育を拡げようとされているのか。予算との関係も含めて具体的な答えを求めます。

答 健康福祉部長
市民等を対象に食育の啓発活動や料理教室、また、人材育成に努めます。さら

に、なのはな園の開園後に、園児の体験学習等の検討を進めます。食育の予算として、2008万5千円を計上しています。

問 産業経済部では、スローフード実践事業の展開との関係。また、学校給食への地元食材の供給等具体的な取り組み方策について。各部署の現状と課題についても問う。

答 産業経済部長
地産地消、安心・安全の観点から、学校給食に地元産米を購入し、一般米との価格差に対して助成を行なっております。今後こうした食育教育の取り組みを推進してまいりたいと考えております。

問 教育委員会については、市の教育方針と併せて各部署での食育に対する考え方と、取り組み方針について

て。学校教育では、不登校や生活指導等様々な問題を抱えている中で、教育長の食育に対する考え方と、高島市の教育における食育の位置づけについて。

答 教育次長
徳育、知育、体育と同様、食育を基本に、幼児教育に料理教室等を取り入れ充実を図ると共に、学校教育では、学校給食をとおして「食育」の重要性について啓蒙し取り組んでまいりたいと思っております。



お米はどうしてできるの？